

教科名	理科
科目名	化学基礎
グレード	
単位数	2単位
対象学年	高校1年

科目の概要	教科書の内容を中心に展開する。発展内容やプラス α の内容についても、触れるように心掛け、化学反応の仕組みについて理解する。重要な内容については実験を行い理解を深める。
科目の目標	身の回りにある物質の変化について学習し、化学物質の扱いについて理解する。発展内容についても積極的に触れることで、化学反応のメカニズムについて理解する。高校2年時以降学習する化学の基礎力を身につけて、大学入試に対応できる能力を身に付ける。
使用教科書	化学基礎 数研出版
使用副教材	サイエンスビュー 新化学資料 実教出版 新課程 リード α 化学基礎+化学 数研出版
評価の方法	定期考査の得点に重点を置くが、実験や授業への取り組み方等も考慮し、「知識・技能」「思考・表現・判断」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点から総合的に評価する。
学習の方法	周期表を活用できるようにすることで、物質の性質を系統的にまとめる。一番重要な物質の概念を理解する為に、化学は物質の個数を扱う事が大切であることを意識して学習を進める必要がある。また、実験等を通して化学物質の扱い方を学び、量を扱うための有効数字に慣れるために計算の練習をする必要がある。
生徒への一言	化学は暗記科目ではありません。化学反応がなぜ起こるのか？という疑問を大切に化学反応のメカニズムを理解するようにしてほしい。物質の性質を整理理解するために、周期表を上手く活用するようになってほしい。

月	授 業 予 定
4月	第1編 物質の構成と化学結合 第1章 物質の構成 ①純物質と混合物～③物質の三態と熱運動
5月	第2章 物質の構成粒子 ①原子とその構造～③周期表
	5月下旬 前期中間考査
6月	第3章 粒子の結合 ①イオン結合とイオン結晶～⑦金属結合と金属結晶
7月	第2編 物質の変化 第1章 物質と化学反応式 ①原子量・分子量・式量～③溶液の濃度
8・9月	④化学反応式と物質
	9月下旬 前期期末考査
10月	第2章 酸と塩基の反応 ①酸・塩基～②水素イオン濃度とpH
11月	③中和反応と塩～④中和滴定
	11月下旬 後期中間考査
12月	第3章 酸化還元反応 ①酸化と還元～②酸化剤と還元剤
1月	③金属の酸化還元反応
2月	④酸化還元反応の利用
	2月下旬 後期期末考査
3月	④酸化還元反応の利用, 化学の基本法則